



災害件数（令和7年3月11～6月10日現在）

・火 災	1件	（年間 2件）
・救 急 消防署	96件	（年間 184件）
上流出張所	52件	（年間 110件）
合 計	148件	（年間 294件）



Topics

—同志たちと切磋琢磨—

6月6日に海部消防組合の隊員と合同で訓練を実施しました。

今回訓練した海部消防組合の1名と那賀町消防本部の1名は、7月26日に開催される第53回消防救助技術四国地区指導会に「はしご登はん」で出場します。併せて、海部消防組合の予備隊員、「ロープ応用登はん」で出場する那賀町消防本部の2名の隊員も訓練しました。

互いに刺激し合い、新記録が出るなど実りのある訓練となりました。



駆けろ！



土砂災害に備えましょう！

近年、気候変動に起因した「線状降水帯の形成や台風の激化」により、豪雨が激甚化・頻発化しており、土砂災害のリスクが増大しています。

土砂災害は大きく3種類の現象に分けられています。

①がけ崩れ

②地すべり

③土石流



どの現象も、土砂が雨水や川水と混じって流れたりすることによって、家や道路、田畑が土砂で埋まったり、人命が奪われたりします。

土砂災害から身を守るために3つのポイントがあります。

①住んでいる場所が「土砂災害警戒区域」か確認する

→那賀町のホームページ又は国土交通省の「ハザードマップ」を確認！

②雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意する

→テレビやラジオで気象情報を事前に確認！

③警戒レベル4で危険な場所から全員避難する

→避難経路、避難場所を確認！

→防災リュックなどを準備しておく！

→警戒レベル4未満でも危険を感じたら早めの避難！

土砂災害や地震が起きてしまった際のために、日頃から避難場所・避難経路の確認と防災リュックなどの準備をし、被害を最小限に抑えましょう！

全ての住宅に設置が義務付けられています **家族を守る 住宅用火災警報器**